

# 決算委員会行われる

根室市議会は2024（令和6）年度の決算審査を行いました。今週の市議団ニュースでは、各事業・特別会計決算審査特別委員会での、鈴木一彦議員の主な質疑内容をご紹介します。

## 港湾整備事業会計

行うよう求めました。

根室市の港湾会計の主な収入は、重要港湾根室

港（根室港区・花咲港区）

における漁獲物陸揚使用

料です。2024年度の

陸揚使用料は1億2千4

15万円（税抜き、以下

同）、うち輸入取扱種（ほ

とんどがロシアからのウ

ニ）の陸揚使用料は5千

365万円となっていま

す。前年度比で3千46

0万円の増となりまし

た。サンマ、ホタテ、タ

ラ・スケソウの増が主な

要因です。

2024年度港湾会計

の当初予算は赤字予算で

した。上屋の大規模改修

を計画したことが要因で

す。上屋改修は計画通り

行われました。鈴木議員

は、上屋が当市の主要産

業である水産業を支える

重要な施設であることか

ら、今後も適切な整備を

## 水道事業、下水道事業会計

全国で、老朽化した水道

管の破損による道路陥没、

冠水などの事故が起きて

います。当市では、他自治

体で発生した事故を踏ま

え、回数を増やすなどの点

検強化を行いました。その

結果、異常は見られなかつ

たとのことです。しかしな

がら、上下水道とも老朽化

した管は残っているため、

今後とも点検はもちろん、計

画的な布設替えが求めら

れます。

経営面では、両会計とも

2024年度決算では、厳

しくはあるけれども健全

であると言えます。しかし

ながら、このまま人口減が

すすむと、水道会計では2

030年度には料金改定

も視野に入れなければな

らない状況です。鈴木議員

は、料金改定が必要と判断

されれば、必要十分な議論ができるよう、速やかに市民および議会に知らせることを求めました。

## 病院事業会計

本年9月をもって返上

された地域包括ケア病床

ですが、2024年度の

利用状況は、全18床のう

ち8割以上稼働し、1億

円以上の『売上』があつ

たところです。レスパイ

ト入院（介護者の休息等

のための制度）も含め、

市民ニーズがあったこと

がわかります。鈴木議員

は、病床はなくなつても、

市民ニーズにはしっかりと

応えてほしいと述べま

した。

2024年9月に、市

立根室病院に対して北海

道厚生局による個別指導

（保険診療のルールを確

認するために行われる医

療機関への指導）が行わ

れ、診療報酬の算定要件

についての指摘により、

医療費の返還が生じまし

た。厚生局の個別指導に

よる医療費の返還は、2

020年、2023年に

務局はその都度「再発防止策を講じ、適正な管理に努める」としていますが、指導内容が異なっているとはいえ、結局は繰り返していることになりす。鈴木議員は、再発防止に向けた強力な対応を求めました。

## 国民健康保険会計

2024年12月2日か

らいいわゆるマイナ保険証

に移行了ことから、マ

イナンバーカードを持っ

ていない国保加入者に

は、資格確認書が発行さ

れたところです。また、

短期保険証も発行されな

くなったことから、窓口

での『（国保税の）納税相

談』は基本的にできなく

なりました。鈴木議員は、

昨今の厳しい経済状況か

らやむなく保険税を滞納

してしまふケースもある

と指摘。親身な対応を求

めました。

国保行政として、特定

検診の受診率向上に取り

組んでいます。なかなか

か成果が上がっていない

というのが現状です。鈴

守るためにも、特定検診の受診向上に向けた取り組みを強化するよう求めました。

## 後期高齢者医療保険会計

2024年度から保険

料率の改定が行われ、均

等割では年間5万189

2円から5万2953円

へ1061円の増、所得

割で10.98%から11.89%へ0.81ポイントの

増となりました。202

2年度には、激変緩和措

置が取られたとはいえ、

医療費が原則1割負担か

ら2割負担へととなり、保

険料の値上げとともに後

期高齢者にとっては大変

な負担増となっています。

日本共産党は、「病気に

かかりやすく、治療に時

間もかかる高齢者の窓口

負担は、現役世代より低

くしてこそ、世代間の負

担の公平を図ることがで

きます。不公平を拡大し、

高齢者の命と健康を脅か

すだけの制度改悪はやめ

るべきです」と主張して

います。